

# ノックアウト・ムービーズ 私をKOで打ちのめした映画



著者：Lucky Day  
当コラムニスト  
映画作家、元プロボクサー

## Round 18

### 『奇跡の人』

(The Miracle Worker  
1962年 アーサー・ペン 監督)

アイルランド移民の貧しい両親は文盲、8才で視力を半分失った直後に母親が亡くなり、父親には捨てられる。孤児院では9才の時に弟も亡くなり、全盲に。生い立ちを誰にも話さなかったアン・サリバン。20才の時にヘレン・ケラーの家庭教師に抜擢されたサリバンは先ずは、娘を甘えさせるカチコチ頭の金持ち家族からヘレンを離れさせた。日本の優しいママたちが子どものためにリンゴの皮をむいて、種をとって、パンにジャムまできれいにぬってあげて、完全な役立たずマザコンを作る残酷さに似てる。教育、家庭、愛情の真実を描く実話『奇跡の人』は、主演の2人にオスカーをもたらした。



▲ 映画化の前のブロードウェイ版『奇跡の人』。サリバン役のアン・バンクロフトとヘレン役のパティ・デューク。共にアカデミー賞を受賞

子供を甘やかし、未来を破壊する親。家に居続ける子供は、教育どころか逆方向に疾走。自宅に放火する"中年の子供"のニュースは毎日。坊さんには千日修行。侍には武者修行。それをさせない親の共通点は、本人に修行経験がない。だから意味わからない。知らないのは罪じゃない。知ろうとしないのは罪。私はボクシングジムの生徒を家に帰すのがいやだった。輝く心をまた踏みにじられる。生徒を通して親が見える。



賢い親は、どんなに大変でも子供を海外に。一方、どんなに条件が整っていても、子供を身近に置き、自分の思い通りにする親が主流。赴任、結婚等でせっかく海外に住んでも柔軟になるどころか、石頭度を増すママがいっぱい。塾漬けに血まなこで、肝心な人間教育はさっぱり。子供の高度な頭脳を理解できないのに自分は正しいと信じる

低脳。「私は正しい?」と自分に問うた時の答えが「Yes」だったら、ほぼアウト。疑問を持つことでしか発展はない。

『奇跡の人』のブロードウェイ版(1959)に続き、映画版の演出もしたアーサー・ペン監督に会ったのは2004年、ニューヨークの名門俳優スクール「アクターズ・スタジオ」で。当時、自らの演出によるブロードウェイ劇『Sly Fox』をリバイバル上演中。その前年、フランスの若者達にセミナーを行っていたのを南仏の映画館で知った。80才を超えても向上心いっぱい。本当に賢い人は常に上を目指す。



若者を闇に陥れる権威主義の学校に猛反発したサリバンの人権なき学校体験が活動の原点。奇跡を起こす人は目標が高い。離散家族と暗闇教育を知った孤独の女性は崇高な志で、ヘレンを光に導くことで世界を変えた。サリバンの理想は障害者支援、教育改革だけではなく、貧困、差別、戦争を無くすこと。盲目の二人には世界がよく見えていた。見えるはずの大衆は皆盲目。正常と思われてることが異常なのが世の常。ヘレンが掲げる民主主義は世界中で歓迎されたが、1937年4月の来日の際、秘密警察(特高)がピタリ尾行。いい人を嫌いなのが政府。せつかく嘘の民主主義で人々を操るのに本物を持って来られたら元も子もない。平和の架け橋としての来日だったが、同年7月に、盧溝橋事件を起こされた虐殺戦争に。世界平和は、おじゃん。横浜では財布も盗まれた。



サリバン役のアン・バンクロフトが亡くなったのは、2005年6月。葬儀の終わった夜、アクターズ・スタジオの重鎮イーライ・ウォラック宅に電話したら、みんな悲しみに沈んでいた。ヘレン役のパティ・デュークも2016年3月に亡くなった。彼女自身、アル中の父親を持ち、8才で養子に出されていた。



誰だって生きてる間に奇跡を起こし、真の愛を掴みたい。でも大人は苦しいことは、ことごとく避け、酔っ払うのが楽しみ。でも子供には学業を強要してる彼らは、まさに"奇跡の人"。学校にはサリバンの間逆な人達が巣食う。チビ子たち、だからこそ、みんなの世代からは変えよう。立派な人から学ぼう。親がズルい派なら、その反対をすれば正しい。すべてが先生。奇跡はドンドン起きる。私もハードワークはイヤだが、私はハードワークしか信じない。「トレーニングのすべてが大嫌いだ。でも自分に言った。"やめるな。今、苦しめ。そして残りの人生をチャンピオンとして生きる"って」と言ったモハメド・アリには「差別と戦争を終わらせる」という高い目標があった。「子供がテストで一番に」とか「入試に合格する」とかの低俗レベルが主流だから「差別と戦争が増える」世の中。「素晴らしい冒険をするか、まったく無意味な人生か、そのどっちかよ」と言ったヘレン・ケラーやサリバンは心の純粋さが一級品だから、自分だけを守る連中が世界におよぼす害をよく見抜いていた。



「学校での教育を捨て切らないとダメ。あれが向上を妨げる」というアインシュタインをスツと理解できる人は清流。わからない人は淀んだ沼。反発するのは汚水。清流のみが奇跡を起こせる。

(Lucky Day)